

仕 様 書

I 調達件名

埼玉県済生会加須病院における自動グリコヘモグロビン分析装置の調達

II 品名及び数量

自動グリコヘモグロビン分析装置

【機器構成内訳】

1	自動グリコヘモグロビン分析装置	1台
---	-----------------	----

III 概要

- (1) 本調達物品に係わる性能、機能及び技術等の要求要件は、調達物品に備えるべき技術要件に示すとおりである。
- (2) 技術要件はすべて必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は当院が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

IV 機器仕様

別紙「調達物品に備えるべき技術的要件」のとおり

V 納入期限

2025年4月30日まで

VI 納入場所

埼玉県済生会加須病院

VII その他

- (1) 物品の搬入にあたっては、下記の事項に留意すること。
 - ア 搬入経路の天井、出入り口の高さ、幅を事前に確認し計画を立て搬入すること。
 - イ 機器の搬入及び据付に必要な箇所の養生を行うこと。また、その費用(材料、敷設及び撤去)は落札者の負担とすること。
 - ウ 患者の安全確保を図るほか、病院運営に支障をきたさないこと。

連絡先

埼玉県済生会加須病院
埼玉県加須市上高柳1680番地
電話0480-53-5918

調達物品に備えるべき技術要件

I. 性能、機能要件

技術要件の機器を納入すること。

1. 構成内訳

1 全自動グリコヘモグロビン分析装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 装置本体は、以下の要件を満たすこと。
- 1-1-1 分析装置本体は以下の要件を満たすこと。
 - 全血及び手作業で溶血させた検体を測定することができる事。また検体を架設するラックにより測定する検体を自動認識する性能を有すること。
- 1-1-1-1 検体は機器のスタンバイ状態から2分以内にファーストレポートを報告できること。
- 1-1-1-2 検体項目としてヘモグロビンA1c、及びヘモグロビンFを測定できること。
- 1-1-1-3 検体項目としてヘモグロビンA1c、及びヘモグロビンFを測定できること。
- 1-1-1-4 現行使用中の試薬消耗品を継続使用が可能であること。
- 1-2 カラムユニットは、以下の要件を満たすこと。
- 1-2-1 カラムユニットは2,500検体の処理が可能であること。
- 1-2-2 カラムユニットはフィルターが一体化され、交換が不要であること。
- 1-3 サンプラー部は、以下の要件を満たすこと。
- 1-3-1 検体架設ラックを複数架設可能であること。
- 1-3-2 検体架設ラックに貼付けされたラックバーコードを読み取り、測定モードを自動で切り替える機能を有すること。
- 1-3-3 分析装置の採血管回転機構に適合した採血管を回転させるための機能を有すること。
- 1-3-4 サンプラー中央部に至急測定の検体を割り込み測定するスタートポートを有すること。
- 1-3-5 サンプラーは接続搬送する分析装置等へ検体架設ラックを搬送するための機能を有すること。
- 1-4 検体架設ラックは、下記の要件を満たすこと。
- 1-4-1 検体架設ラックはその目的に応じ複数種類のラックを有すること。
- 1-4-2 検体架設ラックはラックバーコードを貼付けさせることが可能であること。
- 1-4-3 検体架設ラックはキャリブレーション、コントロール測定などが可能な専用ラックを有すること。
- 1-5 分析装置を含む機器1式は、下記要因を満たすこと。
- 1-5-1 分析装置とサンプラーを合わせて、重量50kg以下であること。
- 1-5-2 分析装置とサンプラーを合わせて、奥行き550mm以下であること。
- 1-5-3 機器1式は検査システム及びデータ管理システムとデータ連携が可能であること。

2. 設置条件

- 1-1 機器設置に係る対応(重機等)をはじめ、搬入・据付・配線・調整費の全ての費用を含むこと。
- 1-2 当院が指定する場所に機器の搬入・据付・配線及び調整を行った後、導入機器が正常かつ安定に作動する状態であるか動作確認を行うこと。
- 1-3 導入日程及び機器の搬入・据付・配線及び調整については、当院担当者と協議し、当院の日常業務に支障のないよう十分に配慮の上、計画的に行うこと。また、当院施設に損傷を与えないよう十分注意すること。万が一損傷を与えた場合は、納入業者の責任と負担において現状回復を行うこと。
- 1-4 装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。

II. 性能、機能要件以外に関する要件

1. 保守体制、教育体制

- 1-1 機器取扱に関しては、担当する職員等が技術を習得するまで十分教育訓練を行うこと。
- 1-2 調達物品に関する取り扱い説明書を3部提出すること。
- 1-3 納入後一定期間は、機器稼動時に技術者を派遣立会いさせ、機器の稼動性能を確認するとともに病院医療職の使用操作に対し随時指導することとし、その期間は状況により、病院担当者と協議すること。
- 1-4 障害発生時に当院からの電話連絡が直ぐに受け付けられる体制が整っていること。
- 1-5 納入後の故障等に対しては、迅速な修復が可能な体制を有すること。
- 1-6 無償保証期間は、納入検査完了日から1年間とする。
- 1-7 無償保証期間中における定期点検費・人件費・作業費・出張費・修理部品費・定期交換部品費等、全ての費用を無償とすること。ただし、消耗品や事務用品を除くものとする。
- 1-8 入札以降、納入までの間に新機種開発によりモデルチェンジまたは機能増強され、当院が把握していた機能や設置条件等に変更が生じる可能性がある場合、速やかにその事由を当院に報告し、当院との協議に応じること。
- 1-9 入札以降、納入までの間に新機種開発によりモデルチェンジまたは機能増強され、当院が把握していた機能や設置条件等に変更が生じた場合は、当院と協議し最新の製品を納入すること。
- 1-10 その他不明な点は担当者の指示に従うものとする。